令和７年度　日本大学スポーツ科学部　個人研究費　研究実績報告書

所属： スポーツ科学部　競技スポーツ学科
資格： 准教授
氏名： 加藤　幸真

研究課題名	日本におけるスポーツおよびレクリエーションの現状と課題
研究目的及び研究概要	（１）研究の背景 　これまでスポーツ社会学および近隣領域において、地域におけるスポーツ活動やレクリエーションは主要な研究トピックとなっている。しかし、地域スポーツを考察するうえで、各自治体を対象とした事例研究が多く蓄積されているとは言えず、また課題も少なくない（森川・佐伯，1988）。 （２）研究の目的 　本研究は日本におけるスポーツ、レクリエーションについて現状と課題を明らかにすることを目的とする。日本におけるスポーツ等の現状や課題を考察するうえで、多くの世代や、多くの地域のレクリエーション活動や健康政策なども調査し、考察を深める。本年度より首都圏以外にも対象地を拡大し、引き続き事例を蓄積していく予定である。また社会情勢も踏まえ、可能であれば日本との比較対象として海外（台湾等）も含めて現地調査を検討・実施する。
研究実績の概要 研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等	【研究の進捗状況】 海外での調査は叶わなかったものの、国内での調査や研究発表は行うことが出来た。来年度も引き続き調査を実施していく。 【得られた成果・今後の課題】 今年度は下記に記したように、関連学会において学会発表を行った。今後は、これらの発表を基礎として、さらに論文作成に取り組んでいく。 【研究実績等】 今年度は下記の発表を行った。 ①中島理恵・小胎元暉・加藤幸真・上原優香・小沼直子、学生女性アスリートの健康問題に関わるライフスタイル要因、日本社会薬学会第43年会、2025年9月、和歌山県和歌山市 ②加藤秀治・加藤幸真・畑瀬聡、全国スポーツ・レクリエーション祭の変遷とその効果～第1回から第10回大会を対象として～、日本レジャー・レクリエーション学会　第55回大会、2025年12月、福岡県北九州市 ③加藤幸真・松尾絵梨子・上原優香・北田典子・小沼直子・中島理恵、若手女性アスリートの健康問題と周囲のサポートに関する調査、第33回日本健康体力栄養学会大会、 2026年2月、徳島県徳島市 ④松尾絵梨子・上原優香・加藤幸真・北田典子・小沼直子・進藤大典、女性アスリートにおける静的バランス能力と月経随伴症状との関連性、第33回日本健康体力栄養学会大会、2026年2月、徳島県徳島市